

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		在宅介護支援センター運営委託事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010603000034
						単独/補助	補助		040501
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	高齢福祉課
総合計画の施策名		0106 高齢者福祉の推進						課長名	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						グループ	地域包括支援グループ
施策名		06 高齢者福祉の推進						担当者名	
手段名		03 ③地域包括ケアシステム体制づくりの推進							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	介護保険特別会計		
	06	05	04	01	01	00	総合相談事業		
						単年度繰返し (平成13年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠		老人福祉法第20条7の2第1項、桜川市在宅介護支援センター運営事業実施要項、桜川市高齢者実態把握事業実施要項							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
在宅介護支援センター 地域の高齢者に対する保険・医療・福祉の相談窓口を基本とし、介護予防事業を推進するための拠点として、また地域のニーズを公的なサービスにつなげるため、地域包括支援センターが行なう総合相談の一翼を担うプラントとして位置づけ、民生委員と連携して活動を行ってもらうための業務を依頼する。	①委託契約事務、②月次実績報告受付、③支払事務、④相談業務の情報共有及び同行支援、⑤包括支援センター・在宅介護支援センター連絡会開催

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
①委託契約事務、②月次実績報告受付、③支払事務、④相談業務の情報共有及び同行支援、⑤包括支援センター・在宅介護支援センター連絡会開催	在宅介護支援センター運営委託件数	件	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	連絡会開催回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	在宅介護支援センターにおける相談解決件数	件	13.00	18.00	19.00	20.00	21.00
	高齢者実態把握調査件数	件	414.00	397.00	400.00	405.00	410.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
問題を抱える高齢者やその家族及び近隣住民	在宅介護支援センターにおける相談受付実人数	人	48.00	36.00	40.00	42.00	45.00
	在宅介護支援センターにおける相談受付延人数	人	246.00	275.00	250.00	255.00	260.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
高齢者に関する問題に対し、適切なサービスや制度に結びつける等対応することにより解消する。	相談解決割合	%	6.27	6.54	7.60	7.84	8.07
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	3,465	3,465	3,465	
		県支出金	千円	1,732	1,732	1,732	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	2,071	2,071	2,071	
		一般財源	千円	1,732	1,732	1,732	
		事業費計 (A)	千円	9,000	9,000	9,000	
	正規職員従事人数	人	6.00人	6.00人	6.00人		

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
	12 委託料	9,000		12 委託料	9,000	
	合計	9,000		合計	9,000	

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	在宅介護支援センター職員が1人暮らし世帯や高齢者世帯宅を訪問し、安否確認を行う。 毎月包括・在介連絡会を開催し、相談事例の対応策を検討しながら、支援を行う。	在宅介護支援センター職員が1人暮らし世帯や高齢者世帯宅を訪問し、安否確認を行う。 毎月包括・在介連絡会を開催し、相談事例の対応策を検討しながら、支援を行う。	在宅介護支援センター職員が1人暮らし世帯や高齢者世帯宅を訪問し、安否確認を行う。 毎月包括・在介連絡会を開催し、相談事例の対応策を検討しながら、支援を行う。

事務事業名	在宅介護支援センター運営委託事業	事務事業No.	10603000034	所属課	高齢福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成13年度、在宅の要介護者及びその家族の在宅介護に関する総合的な相談窓口、福祉窓口として設置し、継続している。 平成20年度、地域包括支援センターの設置に伴い、地域での相談窓口と位置づけられ、県補助金は廃止になった。 平成24年度からは、市民の利便性を考慮し、地域包括支援センターが行う総合相談の地域の身近な窓口（ランチ）として、地域包括支援センターと相互に協力することにより、効率的・効果的に相談対応を行っている。予算は地域支援事業に移行した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 在宅介護支援センターが高齢者の実態把握や相談対応を行うことは、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに繋がり、高齢者福祉の推進に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 介護保険法第115条の39第1項により、市が地域包括支援センターを設置し、責任主体としてセンターの運営について適切に関与しなければならないとされており、在宅介護支援センターはそのランチ的役割でもあることから、公共関与は妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 各地域の在宅介護支援センターが実態把握や相談対応を行っており、体制が整備されている。困難事例については地域包括支援センターと連携を取り課題解決に結び付けている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市として、高齢者相談の24時間対応が出来なくなるため、高齢者支援が衰退し、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
効率性	<input type="checkbox"/> 余地がない 地域包括支援センターや地域ケアシステム推進事業、在宅医療・介護連携推進事業との連携がとれているため、他に手段はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は、高齢者実態把握に要する最低限の費用であり、削減の余地はない。 人件費は、委託業務における人件費であるため削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 対象者は65歳以上の高齢者であり、公平・公正である。また、費用負担は求めている。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高齢者に関する相談を受け付け、早急に関わることで、問題が重大化することを防ぐ事ができた。また、毎月1回、地域包括支援センターと市内3か所の在宅介護支援センターとの連絡会を開催し、複合的な問題を抱える相談事例の対応策を検討しながら支援を実行した。																											
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○																										
低下	維持																												
	低下																												
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ⑤																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>